

2022年2月期 中間決算短信 (2021年3月23日～2021年9月22日)

2021年11月5日

ファンド名 iFreeETF 中国科创板50 (STAR50) 上場取引所 東証
 コード番号 2628
 連動対象指標 STAR50インデックス
 主要投資資産 投資信託証券
 売買単位 1口
 管理会社 大和アセットマネジメント株式会社 URL <https://www.daiwa-am.co.jp/>
 代表者名 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松下 浩一
 問合せ先責任者 (役職名)ラップ・ETFビジネス部 (氏名)長尾 健司 TEL (03)5555-3478

半期報告書提出予定日 2021年12月15日

I ファンドの運用状況

1. 2021年9月中間期の運用状況 (2021年3月23日～2021年9月22日)

(1)資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
2021年 9月中間期	百万円 384	% (99.0)	百万円 3	% (1.0)	百万円 388	% (100.0)

(2)設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
2021年 9月中間期	千口 -	千口 176	千口 10	千口 166

(3)基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末(前計算期間末)発行済 口数)
2021年 9月中間期	百万円 388	百万円 0	百万円 388	円 2,335.3

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 中間財務諸表等

(1) 【中間貸借対照表】

	当中間計算期間末 2021 年 9 月 22 日現在	
	金額 (円)	
資産の部		
流動資産		
預金		3,401,157
コール・ローン		1,061,312
投資信託受益証券		384,215,294
流動資産合計		388,677,763
資産合計		388,677,763
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬		59,107
未払委託者報酬		591,514
その他未払費用		13,620
流動負債合計		664,241
負債合計		664,241
純資産の部		
元本等		
元本	※1	345,600,320
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金 (△)		42,413,202
元本等合計		388,013,522
純資産合計		388,013,522
負債純資産合計		388,677,763

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

	当中間計算期間 自 2021 年 3 月 23 日 至 2021 年 9 月 22 日
	金額 (円)
営業収益	
受取利息	9, 803
有価証券売買等損益	23, 117, 555
為替差損益	1, 543, 405
営業収益合計	24, 670, 763
営業費用	
支払利息	120
受託者報酬	59, 107
委託者報酬	591, 514
その他費用 ※1	173, 820
営業費用合計	824, 561
営業利益	23, 846, 202
経常利益	23, 846, 202
中間純利益	23, 846, 202
剰余金増加額又は欠損金減少額	24, 167, 000
中間追加信託に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額	24, 167, 000
剰余金減少額又は欠損金増加額	5, 600, 000
中間一部交換に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	5, 600, 000
中間剰余金又は中間欠損金 (△)	42, 413, 202

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 2021 年 3 月 23 日 至 2021 年 9 月 22 日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。 なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成 12 年総理府令第 133 号）第 60 条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第 61 条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	当中間計算期間末 2021 年 9 月 22 日現在
1. ※1 期首元本額	200,000,320 円
期中追加設定元本額	166,400,000 円
期中一部交換元本額	20,800,000 円

2.	中間計算期間末日における受益権の総数	166,154 口
----	--------------------	-----------

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 2021 年 3 月 23 日 至 2021 年 9 月 22 日
※1 その他費用	主に、海外カストディアンに対するカストディフィーであります。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当中間計算期間末 2021 年 9 月 22 日現在
1. 金融商品の時価及び中間貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

	当中間計算期間末 2021 年 9 月 22 日現在
該当事項はありません。	

(1 口当たり情報)

	当中間計算期間末 2021 年 9 月 22 日現在
1 口当たり純資産額 (10 口当たり純資産額)	2,335.3 円 (23,353 円)